



2022年 第65号
令和4年4月28日発行

おみたまま市議会だより

小川北義務教育学校開校式



Contents

令和4年第1回定例会

- 定例会内容 P 2-3
- 予算特別委員会 P 4-5
- 審議結果等一覧 P 6-8
- 一般質問 P 13-18

小川北義務教育学校開校式

令和4年度当初予算を可決

令和4年第1回定例会は、3月2日から25日までの24日間の会期で開かれ、全46議案を審議しました。一般質問は、会派制による代表質問が2会派（令和会・同土会）で行われ、そのあと9名の議員による個人質問が行われました。

25日の最終日には、各常任委員会および予算特別委員会の委員長より報告を受け、討論、採決を行い全議案について可決しました。また、議員発議が提出され、いずれも全会一致により原案可決されました。



▲代表質問（3月9日）

令和4年度の新規事業

新 高齢者ごみ出し支援事業

事業費 993千円

75歳以上の高齢者世帯等が排出した可燃ごみ等を対象世帯から収集し、所定のごみ集積所に運搬する活動に対し交付金を支給します。その際、対象世帯に安否確認のための声かけをすることで、安心して住むことができる環境を創出します。令和4年度は、小川・美野里・玉里各地区からそれぞれモデル地区を1行政区ずつ選定し、試験的に実施します。

新 新型コロナウイルス感染症予防助成事業

事業費 13,117千円

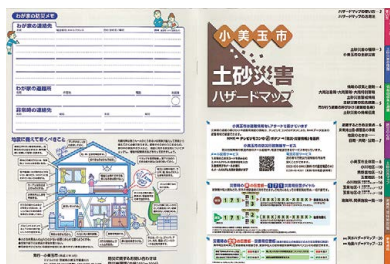
コロナ禍における公共施設等の利用者及び対応者に対して感染防止対策を講じることにより、市民が安心して施設を利用できる環境を整えます。また、PCR検査等を受けられる体制を整えます。



新 防災ハザードマップ改訂事業

事業費 8,528千円

国や県から公表されている最新の浸水想定区域を反映するほか、新たな避難発令基準や避難所での新型コロナウイルス感染症予防対策等を盛り込んだハザードマップを作成し、災害に対する備えや防災意識の向上を図ります。



新 不育症治療等助成事業

事業費 250千円

不育症検査費用の自己負担を軽減するため、保険対象外の不育症検査について、保険適用検査と併せて実施する場合に費用を助成します。助成額は、県助成額を控除した額について、1回の検査につき5万円を限度に上乗せして助成します。



一般会計当初予算 212 億円 対前年度比 10.8%減

【会計別予算】

会計別	令和4年度	令和3年度	増減率 (%)				
一般会計	212 億	237 億 7,800	△ 10.8				
特別会計	国民健康保険（事業）	52 億 4,007	51 億 1,691	2.4			
	後期高齢者医療保険	6 億 3,372	6 億 1,481	3.1			
	農業集落排水	3 億 2,203	3 億 2,348	△ 0.4			
	戸別浄化槽	4,281	3,667	16.8			
	霊園	3,882	1,495	159.6			
	介護保険（事業）	40 億 2,069	40 億 1,594	0.1			
	介護保険（サービス）	759	661	14.7			
	小計	315 億 573	339 億 737	△ 7.1			
	企業会計	水道	収益的	収入	8 億 4,440	8 億 5,330	△ 1.0
				支出	8 億 1,876	8 億 2,683	△ 1.0
資本的			収入	6 億 7,257	5 億 8,752	14.5	
			支出	9 億 8,143	8 億 8,401	11.0	
下水道		収益的	収入	12 億 1,904	12 億 3,047	△ 0.9	
			支出	11 億 7,266	11 億 1,237	5.4	
		資本的	収入	8 億 3,473	7 億 487	18.4	
			支出	12 億 1,289	11 億 6,630	4.0	
小計		収入	35 億 7,074	33 億 7,615	5.8		
		支出	41 億 8,574	39 億 8,951	4.9		
歳入（収入）計	350 億 7,647	372 億 8,352	△ 5.9				
歳出（支出）計	356 億 9,147	378 億 9,688	△ 5.8				

単位：万円



予算案の5つの基本目標

チエック

1 みんなの力で磨くまちづくり

- ・ 市民協働、コミュニティ活動の推進
- ・ 効率的な行財政の運営
- ・ 戦略的な定住、人口対策の推進 など

2 人を育てる学びの場づくり

- ・ 子ども、子育て支援の充実
- ・ 学校教育の充実
- ・ スポーツの推進 など

3 誰もがいきいきと暮らせる社会づくり

- ・ 健康づくりの推進
- ・ 地域福祉、社会保障の充実
- ・ 障がい者福祉の充実 など

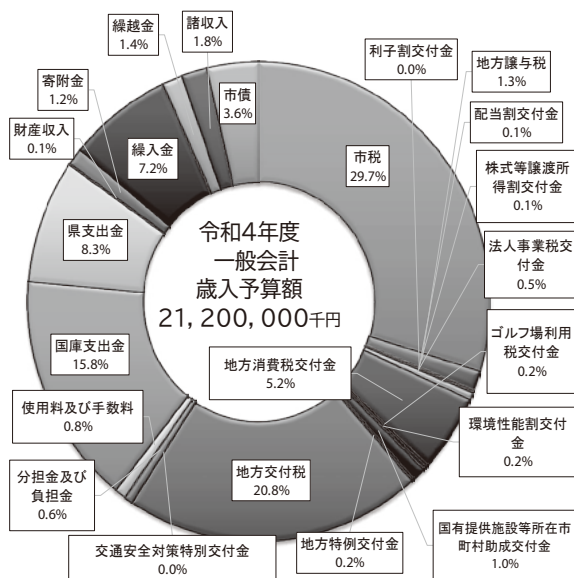
4 仕事と暮らしを創造する環境づくり

- ・ 計画的土地利用の推進
- ・ 道路体系、公共交通の充実
- ・ 茨城空港の利活用 など

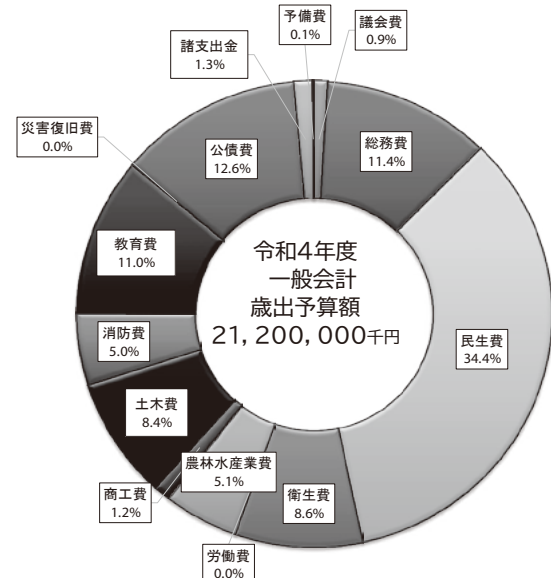
5 安全・安心な生活を支える体制づくり

- ・ 上、下水道の整備
- ・ 防災対策の充実
- ・ 消防、救急体制の充実 など

【一般会計歳入】



【一般会計歳出】

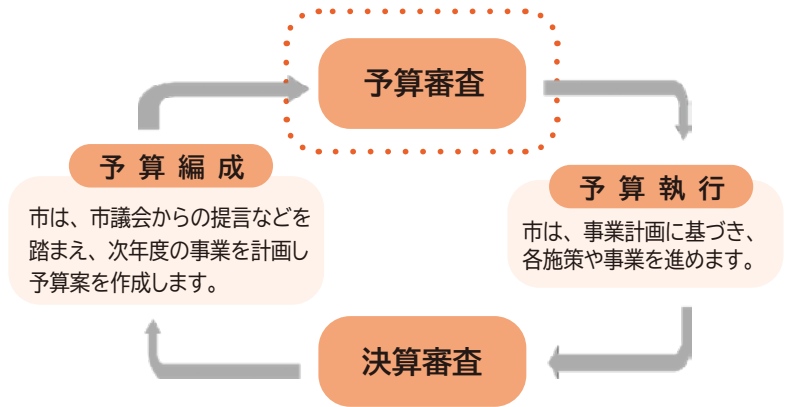




議会が市の予算を チェック



予算特別委員会 3月15日～16日 開催



3月定例会では、市長から提出された令和4年度の予算案について、市議会が「市民の税金がどのようなことに使われるのか」「この事業で期待される効果は」「この経費は必要な経費なのか」などの観点から、慎重に審査を行いました。

審査は文書による質疑通告制で行われ、さらに不明な点について質疑しました。審査の過程で委員からどのような質疑や要望があったのか、その一部をお知らせします。

予算議案

つくば霞ヶ浦りんりんロード整備事業

茨城県で策定した水郷筑波サイクリング環境整備総合計画に基づき、快適で安全・安心にサイクリングができる環境を整備し、誰もが多様にサイクリングを楽しむことができるサイクリング環境の構築を図る。

予算額 2,483,000 円

議会の チェック

道路付帯施設工事 2,483,000 円の内容を詳細に伺う。

回答

つくば霞ヶ浦りんりんロードは、国からナショナルサイクルルートの指定を受けており、茨城県が主導となり一定の整備水準を満たす必要がある。そのため、国庫補助金を利用して、道路の路面表示 31 箇所及び看板設置 4 基の工事を行うものである。

予算議案

新型コロナウイルス感染症 対応行政区運営支援金

新型コロナウイルス感染症拡大により、各行政区の行事の中止等が余儀なくされたことに伴い行政区内における共助の精神を高め、加入世帯の経済的負担を軽減するため、令和4年度に限り行政区に対し支援金を交付する。

予算額 15,000,000円

議会の
チェック

新たに新型コロナウイルス感染症対応行政区運営支援金が計上されたが具体的にどのようなものか。

回答

市内120の行政区において、新型コロナウイルスの感染拡大により事業行事の中止等が余儀なくされたことに伴い、行政区内における共助の精神を高める支援が必要であるとともに、防犯灯電気料における加入世帯の経済的負担軽減を図るため、令和4年度に限り行政区に対し支援金を交付する。

予算議案

防犯対策経費

夜間の犯罪防止と通行の安全確保を行うためにLED防犯灯を設置するとともに、犯罪の抑止と事件・事故の早期解決を図るため防犯カメラの整備を行う。また、警察署及び関係団体と連携し地域防犯力の強化を図る。

予算額 23,597,000円

議会の
チェック

何カ所の防犯カメラ整備工事を行うのか？
また、場所はどのあたりで考えているのか伺う。

回答

国県の補助等を活用し、防犯カメラを次のとおり設置を計画している。

(1) 整備個所数 ①防犯カメラ10基

(2) 設置場所

①国補予算設置場所

上吉影北交差点、野田北交差点、中延北交差点
小川南小学校体育館前、雷神住宅入口前の5基

②県補予算設置場所

江戸十字路北交差点、脇山交差点、堅倉小南交差点
三箇南交差点、柴高南交差点の5基



予算議案

新入学児童用ランドセル購入事業

新入学児童の健やかな成長を願い、七つの祝い式典時に記念品としてランドセルを贈呈している。保護者の入学時における経費の負担軽減と少子化対策を目的とし、また、子どもたちの物を大切にすることを育み、家庭教育の推進、子育ての支援を図る。

予算額 6,930,000円

議会の
チェック

今年度も男子は黒、女子は赤の選択になるのか伺う。事業として継続を希望するが、様々な機会を訴えているように、ジェンダーレスの時代を生きる子どもたちが対象になっていることを考えて進めていただきたい。

回答

令和4年度も男子は黒色、女子は赤色の選択としている。数量把握、コスト等の課題があるため、本市では黒色・赤色を選択している。しかし、ジェンダーレス時代の対応として、トランスジェンダー等の理由により色の変更要望には配慮し対応していく。

議案番号	案件名	内容	付託委員会	審議結果
■報告（1件）				
1	専決処分の承認を求めることについて	令和3年度小美玉市一般会計補正予算の専決処分	—	承認
■条例（9件）				
3	小美玉市長等の政治倫理に関する条例の制定について	市長、副市長及び教育長の倫理規準等を明確化するもの	総務	可決
4	小美玉市職員の倫理に関する条例の制定について	倫理の保持や公正な職務の執行に必要な措置を講ずるもの	総務	可決
5	小美玉市補助金等審議会設置条例の制定について	客観的な意見や助言を得て、適正で効果的な財政運営の推進に向けて、附属機関を設置するもの	総務	可決
6	小美玉市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例の制定について	いじめ防止対策推進法の規定等を踏まえ、関係組織の整理を行うもの	文教福祉	可決
7	小美玉市公の施設の広域利用に関する協定の実施のための特例条例の一部を改正する条例について	本市を含む石岡市、行方市及び茨城町の4市町間で実施する公の施設の広域利用において、かすみがうら市の加入に伴い、所要の改正を行うもの	総務	可決
8	行政手続等における押印署名の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例について	行政手続等における押印署名の見直しに伴い、関係条例について所要の改正を行うもの	総務	可決
9	小美玉市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	国家公務員に係る非常勤職員の育児休業等の取得要件の緩和及び育児休業を取得しやすい環境整備に関する措置が実施されることに伴い、地方公務員も均衡の原則に基づき同様の措置を講ずるもの	総務	可決
11	小美玉市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例について	行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの	総務	可決
13	小美玉市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	消防団員の処遇改善及び定員を適正化するもの	総務	可決
■当初予算（5件）				
25	令和4年度小美玉市農業集落排水事業特別会計予算	予算総額 3億2,202万8千円（前年度比：△0.4%）	予算特別	可決
26	令和4年度小美玉市戸別浄化槽事業特別会計予算	予算総額 4,281万円（前年度比：16.8%）	予算特別	可決
27	令和4年度小美玉市霊園事業特別会計予算	予算総額 3,881万8千円（前年度比：159.6%）	予算特別	可決
29	令和4年度小美玉市水道事業会計予算	【3条予算】 収入額 8億4,439万8千円（前年度比：△1.0%） 支出額 8億1,876万円（前年度比：△1.0%） 【4条予算】 収入額 6億7,257万2千円（前年度比：14.5%） 支出額 9億8,142万8千円（前年度比：11.0%）	予算特別	可決
30	令和4年度小美玉市下水道事業会計予算	【3条予算】 収入額 12億1,904万4千円（前年度比：△0.9%） 支出額 11億7,266万2千円（前年度比：5.4%） 【4条予算】 収入額 8億3,472万6千円（前年度比：18.4%） 支出額 12億1,288万8千円（前年度比：4.0%）	予算特別	可決
■人事案件（1件）				
41	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	農業委員会委員の任命につき、議会の同意を求めるもの	—	同意

議案番号	案件名	内 容	付託委員会	審議結果
■補正予算（10件）				
14	令和3年度小美玉市一般会計補正予算（第8号）	[補正額] 7億2,145万9千円 [補正後額] 274億1,666万3千円	各委員会	可決
15	令和3年度小美玉市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	[補正額] 4,705万円 [補正後額] 51億7,942万7千円	文教福祉	可決
16	令和3年度小美玉市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第2号）	[補正額] △206万4千円 [補正後額] 6億1,589万1千円	文教福祉	可決
17	令和3年度小美玉市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	[補正額] △70万7千円 [補正後額] 3億3,506万5千円	産業建設	可決
18	令和3年度小美玉市霊園事業特別会計補正予算（第2号）	[補正額] △478万4千円 [補正後額] 1,115万9千円	総務	可決
19	令和3年度小美玉市介護保険特別会計補正予算（第4号）	[補正額] △720万9千円 [補正後額] 41億2,753万3千円	文教福祉	可決
20	令和3年度小美玉市水道事業会計補正予算（第3号）	【収益的收入及び支出】 支出 [補正額] △99万1千円 [補正後額] 8億2,646万7千円 【資本的收入及び支出】 収入 [補正額] △554万7千円 [補正後額] 5億8,197万1千円	産業建設	可決
21	令和3年度小美玉市下水道事業会計補正予算（第2号）	【収益的收入及び支出】 収入 [補正額] △708万円 [補正後額] 12億4,069万3千円 支出 [補正額] △495万7千円 [補正後額] 11億3,100万6千円 【資本的收入及び支出】 支出 [補正額] △258万7千円 [補正後額] 11億7,128万5千円	産業建設	可決
38	令和3年度小美玉市一般会計補正予算（第9号）	[補正額] 3億7,452万5千円 [補正後額] 277億9,118万8千円	—	可決
39	令和4年度小美玉市一般会計補正予算（第1号）	[補正額] 2,647万1千円 [補正後額] 212億2,647万1千円	—	可決
■その他（8件）				
31	公の施設の広域利用に関する協議について	小美玉市と水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、茨城町、大洗町、城里町及び東海村との間において協定を結んでいる公の施設の広域利用について、対象施設の変更に伴い、改めて協定を定めるもの	総務	可決
32	公の施設の広域利用に関する協議について	小美玉市と石岡市、行方市及び茨城町との間において協定を結んでいる公の施設の広域利用について、かすみがうら市の加入及び対象施設の変更に伴い、改めて協定を定めるもの	総務	可決
33	指定管理者の指定について	小美玉市美野里シビック・ガーデンの指定管理者の指定期間が本年度で最終年度となり、令和4年度以降の指定管理者を指定するもの	産業建設	可決
34	指定管理者の指定について	小美玉市玉里運動公園の指定管理者の指定期間が本年度で最終年度となり、令和4年度以降の指定管理者を指定するもの	文教福祉	可決
35	市道路線の認定について	幹線市道の見直しに伴う路線再編成等により、新たに市道路線として認定するもの	産業建設	可決
36	市道路線の廃止について	幹線市道の見直しに伴う路線再編成等により当該路線を廃止するもの	産業建設	可決
37	市道路線の変更について	宮田地内、市道小10625号線の一部用途廃止に伴い、路線の終点位置を変更するもの	産業建設	可決
40	工事委託契約の変更契約の締結について	市道美2-9号線の道路整備事業において、常磐線高場踏切歩道設置工事の工事費精算に伴い、工事委託契約の変更とするもの	産業建設	可決

議案番号	案 件 名	内 容	付託委員会	審議結果
------	-------	-----	-------	------

■ 請願 (1 件)

1	中華人民共和国新疆ウイグル自治区での人権侵害に関して、被収容者の釈放や人権侵害を終わらせるための有効な手段をとるよう国連諸機関へ働きかけを求める意見書提出に関する請願採択の請願	請 願 者：公益社団法人アムnesty・インターナショナル日本 水戸グループ 代表 望月 明 紹介議員：長島 幸男	総務	採択
---	--	---	----	----

■ 発議 (3 件)

1	ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議	ロシアによるウクライナ侵攻に抗議し、軍を完全かつ無条件で即時に撤退させるよう強く求めるとともに、日本政府に対してウクライナからのロシア軍の完全撤退を断固として要求するよう強く求めるもの	—	可決
2	小美玉市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例について	「行政手続きとして原則押印を廃止する」という政府の政策動向を踏まえ、本条例についても会派に関する届や収支報告の様式から押印を廃止するもの	—	可決
3	小美玉市議会委員会条例の一部を改正する条例について	各常任委員会を均等化することにより、審議の充実を図るため、常任委員会の所管を変更するもの	—	可決

【賛否が分かれた議案等】 (8 件)

※議長は採決に参加しません

No	議案に対する賛否 (賛成：○・反対：●)	議員名																			付託委員会	審議結果
		1	2	3	4	5	7	8	10	11	12	13	14	15	16	18	19	20				
		戸田 見良	香取 憲一	長津 智之	島田 清一郎	村田 春樹	植木 弘子	石井 旭	谷仲 和雄	長島 幸男	岩本 好夫	福島 ヤヨヒ	小川 賢治	大槻 良明	田村 昌男	市村 文男	荒川 一秀	野村 武勝				
10	小美玉市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	総務	可決	
12	小美玉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	文教福祉	可決	
22	令和4年度小美玉市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	予算特別	可決	
23	令和4年度小美玉市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	予算特別	可決	
24	令和4年度小美玉市後期高齢者医療保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	予算特別	可決	
28	令和4年度小美玉市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	予算特別	可決	

■ 請願

2	「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願書	請 願 者：茨城県労働組合総連合 議長 白石勝巳 紹介議員：福島 ヤヨヒ	産業建設	不採択
---	---------------------------------------	---	------	-----

■ 陳情

1	下吉影小学校を美術館と美術品等の作品保管庫として利活用するよう求める陳情書	下吉影小学校を美術館と美術品等の作品保管庫として利活用するよう求めるもの	総務	不採択
---	---------------------------------------	--------------------------------------	----	-----

「ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議」可決 ウクライナ大使館へ人道的支援金を寄付

3月11日開催の本会議において、「ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議」を全会一致で可決しました。また、ロシアによる軍事侵攻を受けているウクライナの人たちへの人道的支援として、4月7日ウクライナ大使館へ10万円を寄付しました。軍事侵攻により、悲惨な苦しい環境のなかで生活しているウクライナ市民の方を支援したいということから、市議会全員が賛同しました。



▲提案者（石井旭 副議長）による提案理由説明

決議内容

ロシアは、去る2月24日にウクライナへの侵攻を開始し、軍の攻撃による一般市民の犠牲が拡大している。

国の主権や人々の自由、生命を踏みにじる武力行使は、断じて許されるものではない。

ウクライナへの侵攻は、国際社会の平和と秩序、安全を脅かし、国連憲章に違反する行為である。また、核兵器の使用を示唆し他国をけん制する行為は、非核平和都市を宣言する小美玉市として許すことはできないものである。

よって、小美玉市議会は、ウクライナへの侵攻行為に対し厳重に抗議し、ロシアに対して軍を完全かつ無条件で即時に撤退させるよう強く求める。また、日本政府に対しては、国際社会と歩調を合わせたロシアへの強力な制裁措置の実施及び在留邦人の安全確保に全力を挙げつつ、ウクライナからのロシア軍の完全撤退を断固として要求するよう強く求める。

審議結果

令和4年 第1回臨時会（1月18日） 審議結果等一覧（全2件）

番号	案件名	内 容	付託	審議
1	令和3年度小美玉市一般会計補正予算（第7号）について	[補正額] 9億1,233万8千円 [補正後額] 266億6,025万7千円	—	可決
2	監査委員の選任につき同意を求めることについて	監査委員辞職に伴い、議会から選出する監査委員について大槻良明氏を選任するため、議会の同意を求めるもの	—	同意

会議録検索システムをご利用ください

市議会のホームページから会議録を簡単に閲覧・検索できます。「会議録の閲覧・検索」をクリックすると検索画面に移ります。日付や気になるキーワードなどを入力すると簡単に検索できますので、議会で何が議論されているかぜひご覧ください。



小美玉市議会は3つの常任委員会（総務・文教福祉・産業建設）を設置しています。議員はいずれかの委員会に属して議案審査にあたります。3月定例会の議案審査の概要は次のとおりです。

総務

(委員)
◎植木 本取
○香石 井田

◆小美玉市長等の政治倫理に関する条例の制定

【議案第3号】

問 政治倫理審査会委員7名は適正な人数なのか。

答 龍ヶ崎市での官製談合再発防止に関しての委員会は5名で、ほかの自治体の例などを参考にし、7名以内で組織するとした。

◆小美玉市補助金等審議会設置条例の制定

【議案第5号】

問 実際に補助金を出しているが、条例制定前ほどのような審査をして、またどのような流れで団体や金額等を決めてきたのか。

答 平成20年度の審議会では、全てのものを調査した。当時は117件ほど市の監督事業があり、継続するものが60件、その他見直し・廃止等50件ほどあった。それ以降、審議会での審査ではなく、毎年3か年実施計画や予算ヒアリングのときに確認をして、その際に見直しの事務的確認をしていた。



▲ 常任委員会での議案審査

◆小美玉市職員の倫理に関する条例の制定

【議案第4号】

問 内部通報受付窓口はどのような体制でやるのか。

答 内部通報窓口は、庁内通報窓口として人事課内に設置する通報窓口と外部通報窓口として外部の専門家をお願いする予定である。通報が入った際には調査して、小美玉市内部通報制度委員会で調査していくという流れである。

産業建設

(委員)
◎長島 津村
○野村 村
○田小 槻川

◆畑地帯総合整備事業

【議案第14号】

問 園芸リサイクル負担金の補正額が大きい要因は。

答 この事業は平成22年から整備を進めている上小岩戸地区の畑地帯で、区画の整備は、概ね完了している。現在は第2工区幹線道路整備を実施しているが、本年度予定していた道路改良工事の用地買収が難航しているため、来年度実施することになったため本年度の事業費を減額するもの。

◆急傾斜地崩壊対策事業

【議案第14号】

問 事業実施場所と本年度予算の増額補正理由は。

答 本事業は県事業である急傾斜地崩壊対策事業の事業費を一部負担するもので、現在は高崎地内を整備している。本年度、加速化対策事業が加わったことにより整備距離が約30メートル延長することになったため、事業費を増額するもの。

文教福祉

(委員) 田村 島村 島仲
◎村島 市福 谷

◆ いじめ問題対策連絡協議会と いじめ問題専門委員会

【議案第6号】

問 条例で「いじめ問題対策連絡協議会」と「いじめ問題専門委員会」を設置できるとしているが、各々の対応と役割は。

答 対策連絡協議会では、関係行政機関からの直近の情報等の交換を行い、学校現場の校長等も参加をした上で、現状、学校における取組で課題となる部分に対する助言をいただく。専門委員会においては、いじめが起こった場合の対応など、学校事案に対する初期での対応として、必要な措置の専門的な協力を要請し、いじめ事案に対する再発防止に向け、被害児童等へのケア、加害児童等への助言、保護者への助言も含めたアドバイスをいただき、再発防止につなげていく。

◆ 新型コロナウイルスワクチン接種事業

【議案第14号】

問 タクシー券発行枚数と利用者はどの程度なのか。

答 初回接種では、1262人に5048枚送付、追加接種では、1154人に5308枚送付し、使用枚数は1426枚となっている。



▲ 開校前の小川北義務教育学校を視察

◆ 国民健康保険税の賦課方式の変更

【議案第12号】

問 改定により、負担が増えるという方がどの程度になるのか。

答 国民健康保険税の賦課方式の変更は、茨城県の国民健康保険運営方針により、令和4年度から保険料水準の均一化に向け、県内全市町村において3方式から2方式へ統一するもの。変更により前年度比で同じ所得と人数構成で比較すると、全世帯で53・8%の世帯が減額となり、増額となる世帯は、3万円以下の増額となる世帯が42・8%、3万円以上5万円以下の増額となる世帯が2・9%、5万円以上増額となる世帯が0・5%と試算している。

◆ 繰越明許費補正

【議案第14号】

問 土木費関係で繰り越し事業が数件あるが主な理由は。

答 国の補助事業による付帯工事の追加や、軟弱地盤解析を進める中で追加の地質調査等が必要になったこと等のほか、警察との交差点協議、田んぼのパイプラインの確認、残土撤出時期や施行時期など、地元との協議に時間を要したため事業繰越となった。



▲ ドローン映像による市道確認

議会構成が変更になりました

議員辞職により欠員が生じたため、常任委員会等の構成が変わりました。

また最終日には、小美玉市議会委員会条例の一部を改正する条例について議員発議し、常任委員会を均等化することにより、審議の充実を図るため、消防本部および防災管理課が総務常任委員会から産業建設常任委員会へと変更となりました。

■常任委員会

名称	委員長	副委員長	委員	所管部課
総務	植木 弘子	香取 憲一	岩本 好夫 石井 旭 戸田 見良	市長公室、企画財政部、総務部 市民生活部、会計課、議会事務局 監査委員事務局
文教福祉	村田 春樹	島田 清一郎	市村 文男 福島 ヤヨヒ 谷仲 和雄	保健衛生部、福祉部 教育委員会、文化スポーツ振興部
産業建設	長島 幸男	長津 智之	野村 武勝 田村 昌男 小川 賢治 大槻 良明	産業経済部、都市建設部、水道局 農業委員会事務局、防災管理課 消防本部

■議会運営委員会

名称	委員長	副委員長	委員
議会運営	市村 文男	田村 昌男	岩本 好夫 長島 幸男 植木 弘子 村田 春樹 島田 清一郎 (委員外) 石井 旭

■特別委員会

名称	委員長	副委員長	委員
広報	植木 弘子	戸田 見良	島田 清一郎 長津 智之 香取 憲一
茨城空港周辺地域振興対策	市村 文男	島田 清一郎	野村 武勝 大槻 良明 福島 ヤヨヒ 谷仲 和雄 村田 春樹 長津 智之
百里基地対策	石井 旭	戸田 見良	市村 文男 田村 昌男 小川 賢治 岩本 好夫 長島 幸男 植木 弘子 香取 憲一
議会活性化	植木 弘子	村田 春樹	長島 幸男 石井 旭 島田 清一郎 長津 智之 香取 憲一 戸田 見良

議員辞職

木村 喜一氏(2月17日付)、幡谷 好文氏(2月18日付)が、一身上の都合により議員を辞職しました。

(現議員の任期:令和5年11月30日まで)



木村 喜一 氏



幡谷 好文 氏

会派構成が変更になりました

◎会派代表者 R4.4.1時点 / 欠員3名

令和会
◎石井 旭
荒川 一秀
長島 幸男
島田 清一郎
長津 智之
香取 憲一
戸田 見良

同土会
◎岩本 好夫
野村 武勝
小川 賢治
谷仲 和雄

小美玉市公明党
植木 弘子

おみたま共産党
福島 ヤヨヒ

真政会
◎村田 春樹
市村 文男
田村 昌男
大槻 良明

代表質問

※代表質問の掲載記事は議員本人が作成しています。

代表質問

会派を代表した議員が、市長の施政方針や予算編成方針に対して行う質問を代表質問といいます。通常、第1回定例会または市長改選後の最初の定例会で行われます。



公務員倫理を遵守する意識の高揚と健全な組織風土の醸成の取組みは

石井 旭

令和会

- Q 健全な組織風土の醸成は、『管理職の強いリーダーシップと責任感』のもと公平適正な人事とその評価が成されれば強い倫理観が醸成されると考えるが見解を伺う。
- A 市長 管理職研修により倫理観の涵養及び保持に努めるとともに、部下への指導、教育や適正な人事評価など管理職としての意識の高揚を図る。また、組織風土の醸成には公務員としての立場を改めて認識をし、法令に基づき適正に職務を遂行していく意識と、職務外でも法令、社会規範などに率先して遵守することが求められる。一方、職員の倫理意識だけに頼った再発防止の取組では、完全に不正を根絶することは難しいと考えられ、違法行為を行おうとしても行えないようなシステムや制度を構築することが何よりも不可欠である。これらの取組として、提言書の物理的再発防止策及び技術的再発防止策に掲げている施錠保管やワイヤーロックなどの盗難防止策や生体認証機能の導入などに着手をして、倫理意識の高揚とシステム構築といういわゆるソフト面とハード面の両面から再発防止策に取り組み、健全な組織風土の醸成に努めていく。
- Q DX推進計画及び実施計画の策定においてデジタル技術の導入とワンセットで人件費の削減が出来るのか伺う。
- A 市長 積極的にデジタル技術を導入することで、業務の効率化による人件費の削減が図られ、また捻出された時間を活用し、窓口業務などの市民サービスの向上にもつながることが期待される。
- Q 『公共施設マネジメントの推進』スタートした建築系個別施設計画の市民への周知や対応は十分にされているか。
- A 市長 計画の基本方針で具体的な計画の実現に向けては市民と協働で推進するとしていることから施設の再編を実行に移す段階においては市民と十分に意見を交わした上で計画を推進していく。
- Q 市の学校教育としての統一した方向性が無く、旧美野里地区のみ統合でないため、スクールバスが普及せず、また小中一貫と統合とに分かれて計画性の甘さを感じているが見解を伺う。
- A 市長 市内全ての学校で小中一貫教育を実施することが統一した方向性。美野里地区で統廃合が行われる際はスクールバスの運行を考えていく。今後は状況の見える化、情報発信などさらなる工夫をしながら、市民の理解が得られるよう努めていく。

ポストコロナの時代を見据え行財政改革を進めるとともに新たに取り組むべき課題は



同 士 会

谷 仲 和 雄

- Q** 第2次総合計画後期基本計画策定までのプロセスにおいて前期基本計画の実効性と実績の分析評価を踏まえ、ビルドアップの発想が必要とも考えるが、所見を求めます。
- A** 市長 第4次行財政改革大綱や各所管策定の個別計画などを踏まえ、事業の必要性、重要性、緊急性等を総合的に精査のうえ、計画案の策定を進めていく。感染症の脅威を見据えた新たな行政運営なども視野に入れ、本市の将来像の実現に向けて策定を進めていく。
- Q** 県総合計画に位置づけられたつくばエクスプレス県内延伸4方面案について、令和4年度中に延伸方面の一本化を図るという動きを踏まえ、つくばエクスプレス茨城空港延伸に向けた取組方針について所見を求めます。
- A** 市長 延伸には国の支援が必要不可欠であるため、国への要望活動をより多くの沿線自治体で行うことが重要。また、沿線自治体との議論を積極的に交わす場を設けることも必要。市は水戸市を中心とした県央地域連携中枢都市圏形成での広域的公共交通ネットワーク構築事業により、新たな公共交通に関する研究や要望活動を推進する事業があることから、水戸市へ協力を求めていく。茨城空港へのTX延伸ルートの優位性や必要性を広く周知をし、市民の期待感を高め、今後も議会期成同盟会と連携を図りながら取り組む。
- Q** DXの活用により行政の在り方を根本から見直すよい機会とも捉えるが、所見を求めます。
- A** 市長 令和4年度はDX検討支援業務として業務の可視化及び課題の抽出、解決策の提案を行う業務改善調査を実施する予定。その中でデジタル技術を活用した行政の在り方についてもしっかりと検討していく。
- Q** 対話と協調を基本理念に、市発展の礎を築いた島田様一市長のまちづくりに対する想いを伺う。
- A** 市長 合併後の4期16年、市政運営を担ってきた中で、その時代に沿った行政課題があり、また少子高齢化を迎える中で、将来を見据えた様々な施策を継続的かつ新たな発想を持って取組んできた。私の想いは、住んでみたい、住んでよかった、これからも住み続けたい、未来を担う子どもたち一人一人が誇れる小美玉市として、これからもダイヤモンドのように輝き続くことを心から願う。

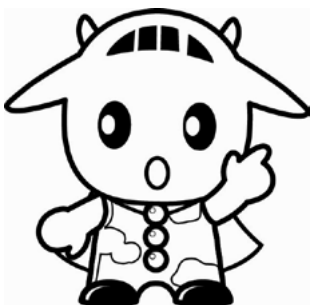
一般質問

※一般質問の掲載記事は議員本人が作成しています。

一般質問

9名

市政を質す！



- P 15 戸田 見良
- 長島 幸男
- P 16 谷仲 和雄
- 福島 ヤヨヒ
- P 17 島田 清一郎
- 石井 旭
- P 18 小川 賢治
- 植木 弘子
- P 19 長津 智之

※質問順

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して行う質問です。

国道6号千代田石岡バイパス開通後における玉里地区の地域振興は

つくば霞ヶ浦りんりんロードの利用促進や普及活動を県と連携していく



戸田 見良

Q 国道6号と小美玉市について
 Q 国道6号千代田石岡バイパス開通後における玉里地区の地域振興や小美玉市としての取組について所見を伺う。

A 都市建設部長 バイパス開通後は、小美玉市玉里地域への流入人口が見込まれ、つくば霞ヶ浦りんりんロードの利用促進や普及活動を県と連携を図り推進することが有効である。石岡市や関係部局と連携を図り広域的な計画を策定できるように働きかけをしていきたい。



▲整備中の国道6号千代田石岡バイパス

人口減少と小美玉市について
 Q 小美玉市企業誘致推進の見直しは。民間企業が小美玉市と組みたい、投資したいと思う条件は。

A 産業経済部長 ワンストップ窓口を活用し、優遇制度やインフラの充実をアピールし努める。投資したいと思う条件は、行政のきめ細やかな支援と道路等のインフラの充実をアピールしながら、企業誘致に努めていきたい。

意見

◆企業誘致に重要な事

企業に投資したいと思わせる風土をつくる

○気さくな行政・地元民間企業はスピード重視

○外部人材に任せない自前主義

○地元限定せず全国展開の視点

○集まるからこそ、さらに集まる

○若者の成長機会を創造（高校・専門・大学インターンを受け入れる）

その他の質問

待機児童ゼロの対策に重きが置かれていた子ども・子育て支援制度の見直しについて等ほか

公共施設の借地の見直しは

借地解消のため、積極的な返地及び買取等により借地料の縮減に取り組む



長島 幸男

Q 行財政改革について公共施設の借地の見直しは。具体的な取組内容と推進は。（現在の借地料は3千3百万円）

A 総務部長 「公共施設等総合管理計画」「建築物系個別施設計画」を策定し、基本方針に今後も安定した住民サービスを提供するためにも、借地の解消及び公用財産取得への転換や、跡地・遊休地を売却・賃借し、施設の更新費用に充当するなどにより、資産の長期的かつ安定的な運用を行うこととしている。第4次行財政改革の基本施策として借地の見直しを推進し、積極的な返還及び買取により借地料の縮減に取り組むこととし、毎年度、現状把握のための調査を行っている。借地料が年間100万円以上の施設は、やすらぎの里小川や小川文化センターアピオスなど10施設あり、これらの見直しは、現在所管課の検討段階であり、交渉まで至っていない。今後全庁的な取組みとして推進していく。

Q 補助金の見直しについてこれまでの取組みと成果は。

A 総務部長 平成20年度に「補助金等審議会」で、市単独補助金の一斉見直しを行い、その後は、一定の年数を経過したものについては廃止・休止の検討を所管課に指示し、状況を確認しているが、見直しの事務的フローが確立されておらず、本格的な見直しには至っていない。今後は、市単独補助金10%削減目標を設定しており、補助金等審議会を再度立ち上げ、実施計画期間内での補助金の適正化・見直しを図っていききたい。

要望 補助金交付規則・交付基準方針に基づき、単に廃止や削減ということを目的ではなく、必要性と効果を確認し、市民が納得する補助金制度のしっかりした運用を図ってほしい。

その他の質問
 ふるさと応援寄附金制度の拡充について
 ・現在の状況や推進策

療育に必要な児童発達支援センターの設置は

具体的機能を考慮のうえ整備することが必要

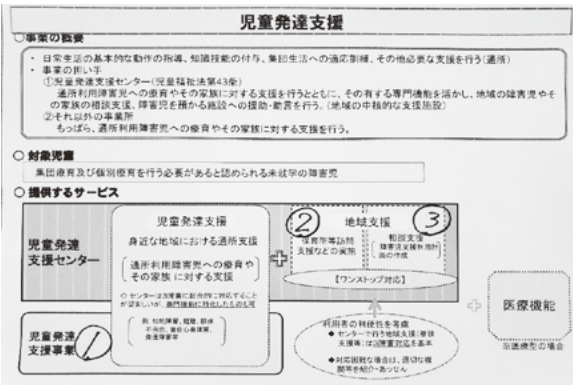


谷仲 和雄

Q 障がい児施設と事業の一元化により、通所系の児童発達支援や放課後等デイサービスなど民間事業者が運営する施設が機能している状況を踏まえ、民間の①「児童発達支援事業」の部分に地域支援の②「保育所等訪問支援」と③「相談支援」を加えることでワンストップ対応が可能となり、児童発達支援センターとしての機能が果たされるのではないかと。療育の推進に必要な不可欠な児童発達支援センターの設置・運営方法について、民間活力導入の可能性及び近隣自治体との広域連携等も視野に入れた調査・検討を進めるべきと考えるが、見解は。

A 福祉部長 児童発達支援事業を実施している施設に保育所等訪問支援と相談支援を加えることで児童発達支援センターとすることも一つの方法である。広域連携については、国の指針において圏

域での設置も差し支えないとのことであるので、広域での設置についても、民間事業者等の動向を注視し、必要に応じて近隣自治体と協議したい。児童発達支援センター設置にあたっては、これまでの各関係機関との連携を一層強化することや民間活力導入や広域連携などの整備手法等を含め、児童発達支援センターが担う具体的な機能などを考慮のうえ整備することが必要と考える。



▶「平成24年児童福祉法改正に伴う障がい児施設と事業の一元化」より

男女共同参画社会実現としての女性部長誕生を願う

男女の区別なく公正公平に評価し総合的に判断する



福島 ヤヨヒ

Q 子どものワクチン接種はどのようになっていくか。コロナのため休校や学級閉鎖が行われているが、給食費はどうなっているか。学校の都合で食べられなければ、給食を無償にしたいが。

Q 小川総合支所にエレベーター設置を願う。他のエレベーターのある施設をもっと活用できるように。

A 保健衛生部長 子どもは接種券を送付、予約受付後3月14日から接種開始している。給食費の無償化は今のところ考えていない。

A 市民生活部長 小川庁舎で2階に用事のある方で障がいなどある方への対応は職員が1階で行っている。エレベーター設置は今後検討していく。玉里総合支所などの活用を柔軟に対応している状況。

Q 文化でまちづくり構想の今後の進め方をどのように図っていくのか。コロナ禍で中止になった地域も含めた様々な祭りや文化活動なども、支援して欲しい。

Q 男女共同参画社会の実現のための施策の進捗状況として、消防署の女性職員採用のためのインフラ整備など、対応は検討されているか。市でも女性の目線で仕事を推進するため、女性の部長の誕生を切に願っているが答弁を。

A 文化スポーツ振興部長 これからもアーティストを学校や地域に送り出す事業を続けていく。地域で守られてきた文化活動も次世代に継承していく支援を行う。

A 総務部長 消防職員の女性採用には子育て中でも働ける環境づくり、ハード面やソフト面の整備を考えていきたい。女性の管理職登用には男女の区別なく公正公平に評価し、部下の管理・指導力協調力など総合的に考慮判断している。人材のスキルアップを図りながらバランスなど適切に図っていく。

羽鳥小学校プール撤去 と そらら拡張計画について

校地の有効活用、持続可能な地域再生を目指す



島田 清一郎

Q 羽鳥小学校のプールは使用されていないので撤去して敷地の有効利用を図るべきでは。

A 教育部長 令和元年度までは使用していた。令和4年度からは、美野里中学校を除く市内の小中学校においては、小川または玉里海洋センターでの水泳学習を実施していく。

羽鳥小学校のプールは、速やかに解体撤去し、校地の有効活用を図る。

Q そららの管理運営について

① 設置目的である地域再生拠点とはどのようなものを意味するか。

A 産業経済部長 市内外から訪れる方々に、本市の価値を発信し、小美玉市ならではのおもてなしを行い、交流人口の拡大による地域経済の活性化を目指した拠点施設。

② 小美玉市まちづくり構想基本計画の中のそらら拡張構想の基本計画と地域再生拠点施設の整合性について伺う。

A 産業経済部長 そらら拡張構想の基本計画は、地域の農と食から持続可能な地域再生を目指すとしており、「そらら」の魅力向上に向けた機能強化の検討をしているので、地域再生拠点施設の考え方と、整合性が図られたものである。

③ そらら拡張構想による設備投資の財源の確保と事業効果の見込みについて伺う。

A 産業経済部長 防衛省の補助事業であるまちづくり支援事業の活用を見込んでいる。効果の見込みは、基本計画策定の中で実施したアンケートで、整備後に利用頻度が確実に増えるとの回答が83・8%であり、まちづくり構想の4つの構想が実現することにより、交流人口の拡大と地域の活性化に大きな効果が発現できる。

要望 この計画が将来の小美玉市の負の遺産とならないよう十分な検討を。

中央線の延伸を提案する『メロンロード』更には『県道・大和田羽生線』まで！

県道紅葉石岡線までの区間の早期供用開始の時期を見極めながら、検討していく



石井 旭

Q 中央線の『紅葉石岡線』への開通が見えてきて防衛補助金を活用し、『メロンロード』更には、『県道・大和田羽生線』まで延伸を提案する。羽鳥駅まで一直線となる。見解を伺う。

A 都市建設部長 小美玉中

央線（市道小10911号線）は、世楽地内の農免道路から県道紅葉石岡線までの2.5kmの幹線道路として整備を進めている。今後は、佐オコミュニティーセンター付近から県道紅葉石岡線の区間で、令和4年度から防衛省の民生安定施設整備事業費補助金を活用し、用地買収を進めていく。用地買収の進んだ区間から順次工実施する予定。小美玉中央線の県道大和田羽生線までの延伸は、本路線が常磐線の羽鳥駅に直結する道路であり、その延伸により利便性の向上や公共交通ネットワークの構築につながる有効な道路になると考えられる。そのため、現在整備を進めている

県道紅葉石岡線までの区間の早期の供用開始の時期を見極めながら、将来交通量や整備費用などを検討していく。

Q 『空港アクセス道路の開通』に伴い市道路線の拡充として、『柴高街道』の整備を提案する。交通量も多く中央線との連携も図られ、側溝やセンターラインの整備を提案する。見解を伺う。

A 都市建設部長 道路の

現状は、幅員は概ね6m前後で、センターラインや路面排水のための側溝は部分的に設置されている。その中で交通量が多く、幅員が4mの狭い区間が多い柴高地内の県道上吉影岩間線の交差点から西郷地の旧国道6号までの約1.7kmについて道路改良事業を進めている。長期的には茨城空港アクセス道路や国道6号小美玉道路などの幹線道路網の計画・整備により、将来交通量の変化に対応できる道路規格の検討や優先度などについて検討を行い、

短期的にはセンターラインや路面の排水対策などの局所的な対策に努めていく。

小美玉市の将来人口の推計は

将来人口の目標値は 2040 年で 46,000 人



小川 賢治

Q 小美玉市の人口状況を伺う。
①総人口の推移は。

A 企画財政部長 2020年10月1日現在48,870人で2040年で46,000人と推計される。

②地区別人口の推移は。

A 企画財政部長 2015年と2020年の国勢調査の推移を見ると小川地区13,451人減少でマイナス7.5%、美野里地区で8,499人減少でマイナス3.3%、玉里地区は4,522人減少でマイナス5.5%であった。

③自然増減と社会増減は。

A 企画財政部長 出生数の減少が大きく、晩婚化や未婚率の上昇なども大きく影響している。また、転出が転入を上回っており、市全体の転出を抑制し、社会稼働率の改善を図ることが必要である。

④人口減少が市税額に与える影響について伺う。

A 企画財政部長 市税収入のうち個人市民税が占める割合は34%。老年人口の増加による社会保障費の拡大等により支出増加が見込まれるなど、市政運営に大きな影響が出ると想定される。

Q 市のめざす健康づくりについて
①健康寿命の重点的な取り組みを伺う。

A 保健衛生部長 本市において医療費が増大している糖尿病、高血圧症、脂質異常症を重点課題とし、健康づくり事業及び介護予防事業に取り組んでいる。

②からだの健康づくりについて本市取り組みの具体策は。

A 保健衛生部長 令和4年度から新たな取組みとして、75歳以上を対象とした高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業として、健康状態が確認できない方の実態把握に取り組んでいく。
③健康づくりの環境整備について、市民・地域主体の健康づくり推進の取り組みを伺う。

A 保健衛生部長 健康づくりの一環として、食生活改善や運動の普及など、老人クラブや地区サロンの参加者に普及啓発活動が行われている。



▲公民館での介護予防講座

带状疱疹ワクチン接種の積極的促進を求む

正しい情報を発信、啓発活動に取り組んでいく



植木 弘子

Q コロナウイルス濃厚接触者を含む自宅療養者への支援対策について

A 保健衛生部長 一定の条件のもとに食料品及び日用品等の支援を行っている。生活支援については市のホームページで案内している。

Q 5歳から11歳へのワクチン接種について

A 保健衛生部長 小児に接種する場合、小児科の医師、看護師の確保が非常に困難な状況にあることから、県主導により広域的な接種会場の設置と県内定期予防接種広域事業と同等の取扱いを出来ること等の要望を実施。その後、医師確保ができ、4月から市の集団接種を進められることになった。

Q 高齢化の進展、さらさら
にコロナ禍で以前より外出を控える生活が続いていることから、带状疱疹が近年増加傾向にある。しかしワクチンに対する認知度が低い。市民の健康

を守り、医療費軽減につながるため、带状疱疹ワクチンの予防接種を積極的に促進すべき。また、費用の助成を検討すべき。

A 保健衛生部長 まずは带状疱疹及びワクチン接種に関する正しい情報を発信し、効果や副反応などについて、十分理解した上でワクチン接種を希望者がきちんと選択出来るよう啓発活動に取り組んでいく。助成については、国の定期化に向けた動きがあることを踏まえ、国県及び近隣自治体の動向を注視し、調査研究していく。

要望 医療費、介護費負担の軽減につながる問題のため、市独自の事業として助成に取り組んでほしい。

その他の質問

- 交通弱者への支援
- パソコン、スマートデバイスに関する支援



5歳から11歳までの小児向けワクチン接種の開始時期は

市内集団接種は4月中旬頃から開始予定

長津 智之

A 保健衛生部長 副反応の相談窓口は、茨城県新型コロナウイルスワクチンコールセンター（副反応相談窓口）。 身体障害者に対しては、症状を理解しているかかりつけ医での接種

Q 接種を受けたあと副反応が起きた場合の相談窓口はどこになるのか、また身体障害者に対する予約体制や相談窓口がどこになるのか伺う。

A 保健衛生部長 対象者数は約2,650人。使用ワクチンは小児用ファイザー社製。接種回数は2回。接種会場は県の大規模接種会場、市内個別接種は小美玉市医療センター、小川南病院、けやきクリニック。市内集団接種は、4月から医師確保が出来たので、現在進めている。

Q 本市における5歳から11歳までの接種対象者は何名か。また、使用ワクチン名、接種回数および接種会場について伺う。



を優先と考える。そして、県の大規模接種会場、市内で小児科標ぼうの3医療機関での接種を案内していく。現在市内での集団接種体制構築のために医師の確保に努めている。接種体制の整備が出来次第、市のホームページ、広報紙、行政メール等で発信していく。小児ワクチン接種に対する問い合わせは、市のコールセンター及び健康増進課で対応している。副反応の相談窓口は茨城県新型コロナウイルスワクチンコールセンター（副反応相談窓口）で、市のホームページへ相談窓口を掲載している。

市民の声

- ・TXの茨城空港延伸実現に向けて、これからも要望活動頑張ってください。（高崎・Sさん）
- ・このコロナの中、成人を迎えられたこと大変嬉しく思います。わが家にも孫が長野県から戻り式に出席でき、家族一同大変嬉しい思い出になりました。（倉数・Nさん）
- ・県内においても、コロナウイルスの感染が再拡大するなかであります。学校での教育・経済活動などコロナウイルスと共存しながら生活ができるよう、今後ともお力添えいただきたいです。（中台・Aさん）
- ・たくさんの茨城空港のことを書いてもらいたい。年に何回かスカイマークにお世話になってます。子どもが兵庫県にいるので。（田木谷・Eさん）
- ・第8代新議長ファイト（議会）早くコロナから穏やかな生活に戻ることを祈願する限りです。（高崎・Sさん）

たくさんのご意見、ご感想ありがとうございました。

プレゼントクイズ

第63回 プレゼントクイズ

今回の議会だより第65号の中から、問題を3つ出題します。正解した方の中から抽選で、10名の方にキャトル・セゾンと空のえき そ・ら・ら レストラン（ちゃあしゅう貴族）で利用できる食事券（2,000円分）をプレゼントします。ぜひご応募ください！

- 問① 令和4年度一般会計当初予算000億円を可決
- 問② 新年度予算は0000委員会で審査を実施
- 問③ 次回6月定例会の開会予定日は6月0日

◇応募方法 はがき・FAXなどで、住所、氏名、クイズの答えを明記してご応募ください。また、議会や本紙に対するご意見やご感想をあわせてお寄せください。

◇締め切り 令和4年5月31日（火）まで
*当日消印有効

◇応募先 〒319-0192 小美玉市堅倉 835

小美玉市役所議会事務局宛 FAX：0299-48-1199

◇その他 応募に関する個人情報は、プレゼントの送付以外には利用しません。当選者発表は食事券の発送をもってお知らせします。



応募用 QR

◆第62回クイズの正解：問① 22 問② 7 問③ 9

任期最後の市長に感謝の意を込めて

小美玉市議会は3月定例会最終日の審議終了後に、今限りで引退を表明している島田穰一市長に対して、議会から「贈る言葉」を述べました。長年にわたり、小美玉市発展に尽力いただいた市長に議会から感謝を伝え花束を贈りました。



6月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
5/29	30	31	6/1 本会議 (開会、 議案説明等)	2	3	4
5	6	7	8 本会議 (一般質問)	9 本会議 (一般質問)	10 本会議 (一般質問)	11
12	13 常任委員会	14 常任委員会	15 常任委員会	16	17 本会議 (報告、採決 閉会)	18

*議場（市役所本庁舎3階）での傍聴には、簡単な受付（氏名・住所等の記入）が必要です。新型コロナウイルス感染拡大防止の対応策として、3密（密閉・密集・密接）を避けるために入場を制限をします。ご理解をお願いします。

*委員会等の詳しい日程については、5月31日に開催する議会運営委員会で協議します。議会事務局までお問い合わせください。

*定例会中の本会議（一般質問など）は、同時放映を行っています。本庁舎、小川総合支所、玉里総合支所1階ロビーに設置されているTVモニターでご自由にご覧いただけます（受付は不要）。

次の定例会は

6月1日（水）開会予定

会議の種類	傍聴	モニター中継
本会議	可	有
委員会	要確認	無

編集後記

令和4年第1回定例会議は全議案が原案どおり可決され閉会しました。今議会は予算議会と称され、予算特別委員会が開催され、4月から執行部提案のとおり新年度予算が執行されることになりました。また、3つの議席が欠員となり、17名での審議となりましたが、慎重な審議が実施されたと思います。

今年度は島田穰一市長の勇退による市長改選、県会議員の改選、さらに3名の市議会議員の補欠選挙があり、大きな変換の年となるようです。

終息が見えないコロナ感染症への対応、疲弊した経済への対策、クラスター発生による学級閉鎖等教育環境への対応など乗り越えなくてはならない障害がたくさんあります。執行部と一丸となって丁寧に解決策を講じる事が重要であると認識を新たにする議会でした。

島田 清一郎

発行編集責任者 議長 荒川 一秀
広報特別委員会 委員長 植木 弘子
副委員長 戸田 見良
委員 島田 清一郎
委員 長津 智之
委員 香取 憲一

